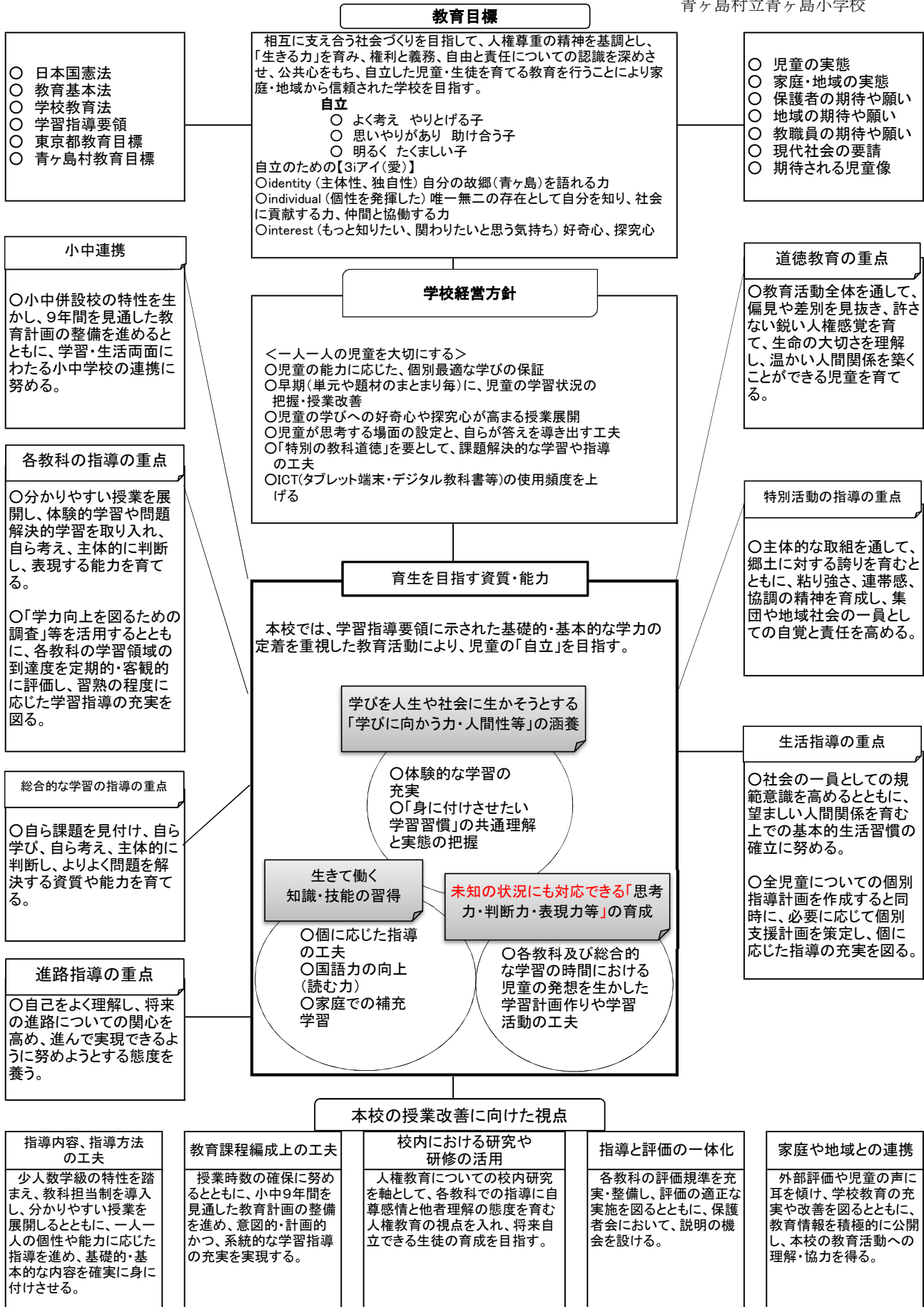


令和6年度

授業改善推進プラン



青ヶ島村立青ヶ島小中学校



令和6年度 青ヶ島小学校 指導方法の課題分析と具体的な授業改善描くおよび補充的・発展的指導等の計画

教科	学年	育生を目指す資質・能力【観点】	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
国語	1年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。 身近なことを経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書くこと。 読み聞かせを聞いた物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習の仮名や漢字を活用して文章を書くよう指導したり、振り返りの小テストを実施したりする。 必要な事柄を集めるための視点を提示する。(5W1Hなど) 主語と述語による基本的な文を複数作り、順序を考えながら、長文を書くようにする。 登場人物になりきって動作化したり、物語には書いていないセリフを付け加えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自主学習の中で、日記や感想など、書く機会を多く設ける。 物語文や説明文の学習でも、主語や述語を見付ける活動を取り入れる。 大事なこと(5W1Hなど)をキーワードとしてメモしながら聞く活動を行う。 友達が考えた文を聞き、そのまま正しく書く活動を行う。
	2年			
	3年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語辞典の使い方や漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うこと ローマ字で表記されたものを読、ローマ字で書くこと <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること 	<ul style="list-style-type: none"> 読書や作文の際に、積極的に国語辞典を使うようにし、漢字と送り仮名の関係にも注意を向けるようにする 作文の際、既習の漢字は必ず使う 書く内容を、始め、中、終わりに分け、それぞれにふさわしい内容と表現を工夫する 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて教科書以外の読みものに触れるようにし、その際、国語辞典をすすんで活用する タブレット利用の際、ローマ字入力を使用しローマ字に慣れ親しむ クロハトのような、身近な題材をテーマにした作文を書く
	4年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字辞典の使い方や接続する語句の役割、修飾語と被修飾語の関係や文章の構成、展開の特徴などについて理解すること <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に漢字辞典を使用する場面を設定する。 日々の文章の読み取りの中で、接続語や修飾語に関して繰り返し復習をする。 相手を明確に定めることで相手意識をもたせる。 アンケートやインタビューで集めた情報を自身の考えを比較したり、分類したりしながら課題に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に既習事項を復習する時間を設定する。 作文を書いた際に、接続語や修飾語などが正しく使われているか確認をする。 相手に評価してもらう場を設けることで、相手意識や目的意識を強化していく。
	5年			
	6年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること 	<ul style="list-style-type: none"> 主語、述語について、反復練習を行い、正しく身に付ける機会を設ける。 既習の教材について、構成に注目して文章を読む機会を設ける。 相手の考えを予想し、事前に回答を考えた上でインタビューに取り組む。 話し手の考えを、自分の考えと比較や同意を行いながらインタビューに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で書いた文章や、教科書の文章について、主語、述語、修飾語に分類する。 身近な文書を読み、尾括型、頭括型、双括型のそれぞれのよさについて感じさせる。 校内の教職員だけでなく、地域の方にもインタビューを行う。 オープンエンドの質問をすることを通して、相手の考えを引き出せるようにする。

令和6年度 青ヶ島小学校 指導方法の課題分析と具体的な授業改善描くおよび補充的・発展的指導等の計画

教科	学年	育生を目指す資質・能力【観点】	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
社会	3年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な地域の物理的環境、地域の産業と消費生活の様子について、人々の生活との関連を踏まえて理解すること。 調査活動や地図帳を活用して、必要な情報をまとめること。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な地域や市の場所による違いや、生産の仕事と地域の人々の生活の関連や販売の仕事に見られる工夫を考え、表現すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 調査活動を充実させ、実体験に基づいて身近な地域の環境などを理解できるようにする。 地域の方に話を聞き、地域の方の思いに気付く機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会科見学の日程に合わせて、単元計画を立てる。 自ら課題を設定し、調べたいことについて、インターネットで調べたり、インタビューを行ったりする探求的な活動を重点的に行う。 都心と青ヶ島を比較する活動を取り入れることで、地域の特徴やよさを知る。
	4年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 飲料水、電気、ガスを供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解すること。 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめること。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 飲料水が届くまでの道筋を、視覚的にわかるよう視聴覚教材を活用する。 自分が住む地域について調べる活動に重点を置く。 地域の方に話を聞き、地域の方の思いに気付く機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会科見学の日程に合わせて、単元計画を立てる。 自ら課題を設定し、調べたいことについて、インターネットで調べたり、インタビューを行ったりする探求的な活動を重点的に行う。 都心と青ヶ島を比較する活動を取り入れることで、地域の特徴やよさを知る。
	5年	/	/	/
	6年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国、地方公共団体の政治、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに大まかな歴史に関して理解すること。 見学・調査したり、各種資料を調べたりして、まとめること。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国、地方公共団体の政治の取組、我が国の歴史上の主な事象を捉えて我が国の歴史の展開を考え、表現すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 国や都について、インターネットやインタビュー等を活用して調べる機会を設ける。 歴史の流れを確認できる資料を用意し、時代の流れを理解できるようにする。 調べたことを基に、他の単元と比較したり、関連付けたりしながら、学習をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 都や村の現在の政治について探究する機会を設け、調べたことを基に、政治に関して他者と議論する学習を取り入れる。 調べたことを基にまとめ、他者に発表する機会を設ける。

令和6年度 青ヶ島小学校 指導方法の課題分析と具体的な授業改善描くおよび補完的・発展的指導等の計画

教科	学年	育生を目指す資質・能力【観点】	具体的な授業改善策	補完的・発展的な学習指導計画
算数	1年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法の意味について理解し、簡単な場合について、2位数などについても加法及び減法ができること。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりする。 ・時刻の読み方を用いて、時刻と日常生活を関連付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題や復習の時間を多く設け、反復学習をさせる。 ・本人が気付かなかった考え方は、教員が図や式の一部を提示し、考えの続きを説明させるようにする。 ・日常生活の中で、時計を読む習慣をつくるなど、算数的活動を増やし、学習活動を日常生活にどのように関わっているのか結びつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習で身に付けたことをもとに、日常生活の中で活用する場面を見つける。 ・文章問題に取り組む機会を増やし、問いに正対した答えを導き出せるようにする。
	2年			
	3年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3位数や4位数の加法及び減法の計算の技能を確実に身に付けて、必要な場面でそれらの計算を活用できるようにする。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆算を行う際に、繰り上がりや繰り下がりに気を付け、習熟する時間を設ける。 ・算数的活動を増やし、学習活動を日常生活にどのように関わっているのか結びつける。 ・余りのあるわり算において、具体物を用いることで、商よりも余りが大きくなり計算することを確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習で身に付けたことをもとに、日常生活の中で活用する場面を見つける。 ・文章問題に取り組む機会を増やし、問いに正対した答えを導き出せるようにする。 ・九九を超える掛け算の計算の仕方から、商が10以上になる場合のわり算の計算の仕方を考える。
	4年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整数、小数等の計算をしたり、図形の面積や角の大きさを求めたりする技能を身に付けて、必要な場面でそれらの計算を活用できるようにする。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数とその表現や数量の関係に着目し、計算の仕方などを考えたり、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計算や位等を見直す機会を設け、個々の課題について振り返ることができるようにする。 ・具体例や算数的活動を取り入れ、学習について児童がイメージしやすいようにする。 ・問題に対する解答だけでなく、解いた方法やその他の解き方など考える時間を確保する。 ・自分の考えだけでなく、自他の解き方や考え方を共有する場面を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項について、繰り返し振り返る機会を設けて、学習の定着を図る。 ・既習事項を用いて、実生活に関連付けた探究的な学習を取り入れる。
	5年			
	6年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字を用いた式や比例などについて理解するとともに、分数の計算をしたり、図形の面積や体積を求めたりする技能を身に付けて、必要な場面で活用できるようにする。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いるなど、数の表し方や計算の仕方などを考察したりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数直線や表などを用いて、視覚的に数量の関係が理解できるようにする。 ・授業時間に学習した内容を習熟する時間を設ける。 ・計算の仕方を多面的に捉え考えることができるように、複数の回答方法を ・面積図などを用いて具体的なイメージを児童がもてるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習開始時に前時の復習問題を解くことで、学習の定着を図る。 ・既習事項を活用して、実生活に関連付けた探究的な学習を取り入れる。

令和6年度 青ヶ島小学校 指導方法の課題分析と具体的な授業改善描くおよび補充的・発展的指導等の計画

教科	学年	育生を目指す資質・能力【観点】	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
理科	3年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象(特に本校周辺の動植物や気象)について理解し、観察・実験などに関する基本的な技能を身につけること <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象について、差異点や共通点を基に、問題を見出すこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校から尾山展望公園までの野外観察を定期的に行い、観察対象の検討や、観察結果の記録を蓄積する ・上記の活動にタブレットを活用する <ul style="list-style-type: none"> ・比較をするためにそろえる共通条件として何が必要か確認する。 ・月ごとのデータを比較数する 	<ul style="list-style-type: none"> ・野外観察の結果を研究レポートにまとめ、東京都小学生科学展に出展する
	4年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象(特に本校周辺の動植物や気象)について理解し、観察・実験などに関する基本的な技能を身につけること <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の内容や生活経験を基に、根拠ある予想や仮説を発想して問題解決につなげること 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校から尾山展望公園までの野外観察を定期的に行い、観察対象の検討や、観察結果の記録を蓄積する ・上記の活動にタブレットを活用する <ul style="list-style-type: none"> ・測定・記録の前に根拠のある予想を立て、結果と比較する 	<ul style="list-style-type: none"> ・野外観察の結果を研究レポートにまとめ、東京都小学生科学展に出展する
	5年			
	6年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象について理解し、観察・実験などに関する基本的な技能を身につけること <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象について、自分がすでに持っている考えを検討し、より科学的なものに変容させること 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書記載の実験方法と異なる方法も検討採用して、観察・実験についての技能を充実させる <ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験方法を検討することで、科学的考察を深める 	<ul style="list-style-type: none"> ・国連持続可能開発目標(SDGs)の達成について、環境保全に限らずより広い視点から考察する

令和6年度 青ヶ島小学校 指導方法の課題分析と具体的な授業改善描くおよび補充的・発展的指導等の計画

教科	学年	育生を目指す資質・能力【観点】	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
生活	1年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身につける。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 疑問を見つける活動を日常化し、友達と共有できるような工夫を行う。 発見や解決するに至った大切なポイントを示し、自分の振り返りを自分の言葉で自己評価できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 疑問を持った動植物の特徴がわかる図鑑やICT資料を用意しておき、適切なタイミングで提示し、対象への理解や愛着を高められるようにする。 観察したことを表す言葉の語彙を示し、児童がまとめたり、整理したりしやすいようにする。
	2年			

令和6年度 青ヶ島小学校 指導方法の課題分析と具体的な授業改善描くおよび補充的・発展的指導等の計画

教科	学年	育生を目指す資質・能力【観点】	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
音楽	1年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読譜 ・音程 ・リズム感 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で考えて音楽をつくり演奏する。 ・友達や教師と一緒に演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材ごとに楽譜を読む。 ・楽器に合わせて正しい音程で歌う。 ・リズムリレーなど遊びの中でリズム感を養う。 ・リズムや音の組み合わせを考えて音楽をつくり演奏する。 ・友達や教師の音を聴いて合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読譜から楽器の演奏につなげる。 ・楽器なしで歌えるようにする。 ・止まらずにリズムリレーを行う。 ・1つにこだわらず、いろいろな音楽をつくり演奏する。 ・練習では友達の音を気にせずに自分の演奏をする。
	2年			
	3年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確実なリズム感 ・正しい音程での歌唱 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの正しい奏法を身につけきれいな音でリコーダーを吹く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器に合った演奏方法で演奏できるようにする。 ・楽器の音程に合わせて歌う。 ・タンギングと息の使い方に気をつけて吹く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・還住太鼓のリズムや打ち方ではなく、各楽器に合った演奏方法で演奏できるようにする。 ・音感を身につけ音程をイメージして歌う。 ・音の出だしや伸ばした音の最後まできれいな音で吹く。
	4年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読譜 ・リズム感 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽器の音色、曲の特徴を生かして演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書教材に音名を書き込ませる。 ・音の長さを理論的に理解してリズムを演奏する。 ・楽器の音色の違いや旋律の特徴について感じ取り演奏に生かそうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書き込んだ音で演奏させ、音感も養う。 ・拍感を身につけ、音の長さについて説明できるようにする。 ・パートや曲に合う楽器や演奏方法を選択し、スタッカートやリズムに気を付けて演奏する。
	5年			
	6年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽の記号の理解 ・音や休符の長さの理解 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲の特徴にふさわしい表現で歌う。 ・全体の響きを感じ取って合唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材ごとに音楽の記号を確認する。 ・仕組みを理解し ・音楽の記号に沿って歌う。 ・明るく響きのある声で歌い、他のパートと合わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の記号を生かして演奏する。 ・曲の中でその音や休符が使われている意味を考え演奏に生かす。 ・表現の工夫について音楽の用語で考え説明できるようにする。 ・和音の響きや音の重なりを感じ取り、互いの歌声を聴き合って歌う。

令和6年度 青ヶ島小学校 指導方法の課題分析と具体的な授業改善策および補充的・発展的指導等の計画

教科	学年	育生を目指す資質・能力【観点】	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
図画 工作	1 年	【知識・技能】 ・自分の感覚や行為を通して、形、大きさ、線、色、触った感じ等に気付き、自分のイメージをもつ力	・考えたことや自分がつくりたいものについて聞き取り、教師と一緒に考えたりつくったりすることを通して、楽しみながら取り組ませる。	・参考作品を見せたり、つくり方を実演したりすることを通して、活動に興味をもたせる。
	2 年	/	/	/
	3 年	【知識・技能】 ・材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かしながら、手や体全体を十分に働かせて、創作活動を工夫する力	・テーマからつくりたいものを考え、自分の表したいことに合わせて材料や用具を使えるように、材料の特徴や用具の扱い方について丁寧に指導する。	・多様な素材を扱った参考作品を見せたり、作り方を実演したりすることによって、材料や用具について様々な方法を試す時間を確保する。
	4 年	【思考力・判断力・表現力】 ・身近にある作品などを鑑賞する活動を通して、作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりする力	・参考作品や友人の作品の鑑賞を通して、作り手の思いをくみ取ったり鑑賞した作品のよいところについて考えたりするなどして、自分の見方や感じ方を言葉にするよう指導する。	・感じたことや表したいことを自由に発言する機会をつくり、手触り、大きさ、形、色、光などを根拠に、自分なりに味わったりイメージを見直したりする活動に取り組む。
	5 年	/	/	/
	6 年	【思考力・判断力・表現力】 ・形や色、材料や空間などを基に、感性や想像力を働かせて、自分なりに造形的な活動を思い付いたり、表したいことを見付けたりする力	・これまでの経験を生かしながら、児童が進んで様々な素材や画材を組み合わせたり、用具の使い方を工夫したりすることができるように、作業環境を整える。	・自分たちが造形的に手がけることによって、見慣れた場所や空間を新しい場所や空間に変えることの面白さを感じられるような活動にする。

令和6年度 青ヶ島小学校 指導方法の課題分析と具体的な授業改善描くおよび補充的・発展的指導等の計画

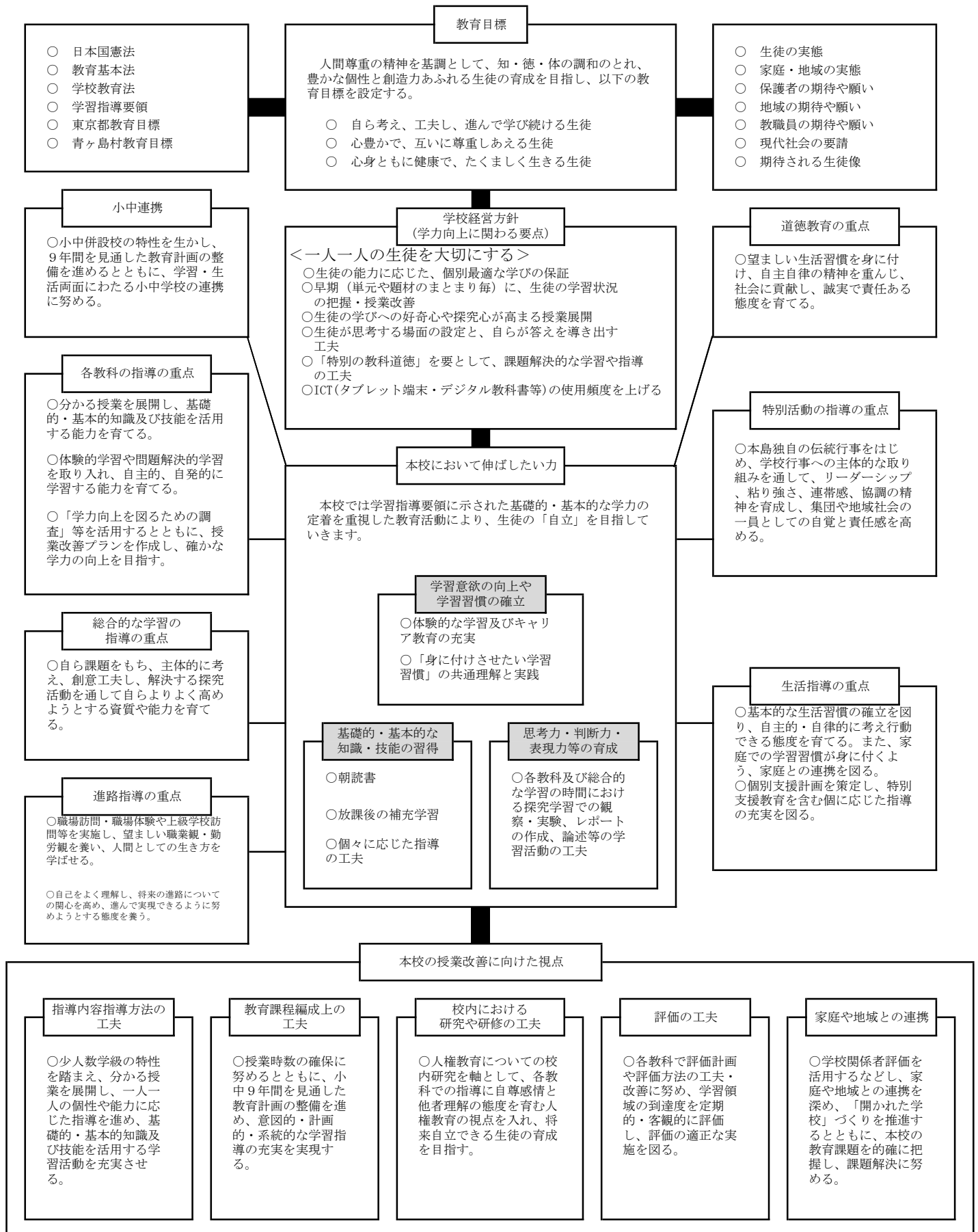
教科	学年	育生を目指す資質・能力【観点】	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
	5年	/	/	/
	6年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活を送るために必要な衣食住、環境などに係る基本的な技能を身に付ける力 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で見つけた課題の解決法を考え、それを表現する力を身に付ける力 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活をよりよくするための工夫を考えたり、それを実践しようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の題材ごとに自らの生活を振り返り、課題を設定する時間を設ける。 学習した技能を授業の中で実践するとともに、家庭で実践する課題を出すことで知識・技能の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 製作や調理の実践についてまとめたり、展示したりする。 小・中学校の各内容の系統性を重んじながら指導を行う。

令和6年度 青ヶ島小学校 指導方法の課題分析と具体的な授業改善描くおよび補充的・発展的指導等の計画

教科	学年	育生を目指す資質・能力【観点】	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
体育	1年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身につける力 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 工夫して運動遊びを行い、自分の考えた運動遊びを友達に伝える力 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動遊びに対し、意欲的に取り組む態度 	<ul style="list-style-type: none"> ルールや場の設定を工夫し、活動時間を十分に確保する。 ICT機器を用いて、音楽を流したり児童の動きを撮影したりして、学習に対する意欲を高める。 振り返りの時間を確保し、次回への課題を見付けることができるようにする。 様々な動きを準備し、意欲を引き出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 人数が少なくできない運動には、教員が入ったり、ルールを変更したりして、いろいろな動きを経験できるようにする。 自分自身の記録を意識してできるようにする。 運動遊びから運動につながる補助運動を取り入れる等、スモールステップで行う。
	2年			
	3年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動の楽しさや喜びを感じながら、その行い方及び健康で安全な体の動かし方を理解し、基本的な動きや技能を身につけようとする力 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫し、考えたことを他者に伝える力 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> きまりを守り、友達と協力しながら運動に取り組む態度 	<ul style="list-style-type: none"> 練習場所やルールを工夫し、活動時間を十分に確保する。 ICT機器を用いて、音楽を流したり児童の動きを撮影したりして、学習に対する意欲を高める。 良い動きや声かけを取り上げたり、全体で注意点を確認したりすることで、互いに学び合える場を設ける。 活動に必要な用具の準備や片付けを、協力して取り組むようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 役割分担を行い、様々な役割を経験できるようにする。 ペア学習を通して、お互いに教え合ったり励まし合ったりするような関係を構築できるようにする。
	4年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動の楽しさや喜びを感じながら、その行い方及び健康で安全な体の動かし方を理解し、基本的な動きや技能を身につけようとする力 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫し、考えたことを他者に伝える力 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> きまりを守り、友達と協力しながら運動に取り組む態度 	<ul style="list-style-type: none"> 練習場所やルールを工夫し、活動時間を十分に確保する。 ICT機器を用いて、音楽を流したり児童の動きを撮影したりして、学習に対する意欲を高める。 良い動きや声かけを取り上げたり、全体で注意点を確認したりすることで、互いに学び合える場を設ける。 活動に必要な用具の準備や片付けを、協力して取り組むようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 役割分担を行い、様々な役割を経験できるようにする。 ペア学習を通して、お互いに教え合ったり励まし合ったりするような関係を構築できるようにする。
	5年			
	6年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動の楽しさや喜びを感じ、その行い方及び心の健康やけがの防止等について理解する力 基本的な技能及び健康で安全な生活を考えるための技能を身に付ける力 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己やグループの課題を見つけ、その解決のために工夫するとともに、自己の考えを他者に伝える力 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> きまりを守り、友達を助け合いながら運動をしたり、友達の考えを認めたりして自己の最善を尽くして運動をする力 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な技能をプレイの中で発揮する場面の設定等を工夫し、運動することの楽しさを味わえるようにする。 自己の適切な課題を見つられるように、ICT機器の活用、練習の場、技や技術の確認などの支援を行う。 ゲーム形式の活動の際、自分たちで約束事を決め、お互いが決まりを守り協力し合いながら運動する場を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 技能の向上とそれに伴う体力の向上が、健康で安全な生活と密接に関係していることに付くことができるようにする。 自己の課題について考えたことを他者に伝えると共に、他者の考えを理解し、自己の考えをより深める場を設ける。 課題の達成に全力を出して運動に取り組む態度を育成することにより、自己の可能性に気づき、生涯にわたり豊かなスポーツライフを実現する資質を養う。

令和6年度 青ヶ島小学校 指導方法の課題分析と具体的な授業改善描くおよび補足的・発展的指導等の計画

教科	学年	育生を目指す資質・能力【観点】	具体的な授業改善策	補足的・発展的な学習指導計画
外国語活動	3年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付く力 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の音声の特徴を意識させながら、外国語を用いたコミュニケーションを通して、日本語の使用だけでは気付くことが難しい日本語の音声の特徴や言葉の仕組みに気付くことができるようにする。 ・児童がよく知っている人や物、事柄のうち、簡単な語彙や基本的表現で表すことができるものを用いて、コミュニケーション活動を行うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動の充実を図る。 ・話す際には、動作を用いたり、実物を見せながらコミュニケーションを取るようにしたりする環境を設ける。
	4年	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付く力 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の音声の特徴を意識させながら、外国語を用いたコミュニケーションを通して、日本語の使用だけでは気付くことが難しい日本語の音声の特徴や言葉の仕組みに気付くことができるようにする。 ・児童がよく知っている人や物、事柄のうち、簡単な語彙や基本的表現で表すことができるものを用いて、コミュニケーション活動を行うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動の充実を図る。 ・話す際には、動作を用いたり、実物を見せながらコミュニケーションを取るようにしたりする環境を設ける。
外国語	5年			
	6年	<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 語いや表現、言語の働き等について理解し、正しく活用する力。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 言語活動を行う目的や場面に応じて、語いや表現や文法を意識しながら、身近な事柄について話したり、聞いたり、書いたりして、自分の考えや気持ちを伝え合う力。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. リスニングで言語材料をはじめとした多様な英語表現に慣れ親しみ、話すことや書くことを通じて児童が学んだ英語表現を活用する指導を行う。 2. 日常的な話題について話し合う活動を実施し、お互いの考えや気持ちを伝え合う。自分の考えを英文にまとめ、発表する活動を実施することで、児童が自分の考えや気持ちを表現する力を高める。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語の単語表現や英単語のニュアンスなどの内容を指導することで、自分の考えを話し合ったり、書いたりする活動において、児童が自分の意見や気持ちをより適切に表現できるようにする。 2. 中学校第2・第3学年と考えを伝え合う環境を整えることで、児童が多様な考え方に触れ、自分の考えに取り入れる機会を提供する。



令和6年度 青ヶ島村立青りヶ島中学校 授業改善推進プラン【国語科】

教科	観点	伸ばしたい力	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画	
国語科	知識・技能	1年生			
		2年生	<ul style="list-style-type: none"> 漢字 文法 表現の技法 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の成り立ちや構成を学習し、単元ごとに新出する漢字の定着を図る。 文法の学習ではワーク等を活用し既習事項を確認しながら学習を進める。 表現の技法においては詩作の機会を設けて学習の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字テストは再テストの機会を設け、新たに覚えた漢字や文法の知識は、例文を作るなどして発展的な学習を進める。 様々な詩を例に取りながら学習内容を確認し、新しい表現技法を見つけて詩作をするなど発展的な学習を行う。
		3年生	<ul style="list-style-type: none"> 漢字 文法 表現の技法 	<ul style="list-style-type: none"> 毎週の漢字テストを実施し、単元ごとに学習する漢字の定着を図る。 文法の学習では既習事項を確認しながら知識を活用させる。 表現の技法においては詩作の機会を設けて学習の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 新たに覚えた漢字や文法の知識は、それらを使って例文を作るなどして発展的な学習を進める。 様々な詩を例に取りながら学習内容を確認し、新しい表現技法を見つけて詩作をするなど発展的な学習を行う。
	思考・判断・表現	1年生			
		2年生	<ul style="list-style-type: none"> 構成の検討(話す・聞く・書く) 精査・解釈(読む) 考えの形成、共有(読む) 	<ul style="list-style-type: none"> 小論文等の原稿を書いた後、構成の意図や根拠を発表させる。 文章読解においては、登場人物の行動や場面の様子から心情を想像させる。 自分の考えを支える根拠がどのようなものか記述でまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明文の構成を参考に自身の文章を見直す。複数の構成を比較する。 登場人物の言動に注目したり、場面ごとの関連を考えたりする。 筆者の主張に対する考えを述べたり、考えの根拠の妥当性を考えたりする。
		3年生	<ul style="list-style-type: none"> 構成の検討(話す・聞く・書く) 精査・解釈(読む) 考えの形成、共有(読む) 	<ul style="list-style-type: none"> スピーチ等の原稿を見直し、構成の意図や根拠を発表させる。 文章読解では、登場人物の言動に注目させて心情を想像させる。 考えの形成に関しては、主に作文指導などを通して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 論説文の読解の際に、段落ごとの役割や関連を考えさせる。 登場人物の言動に注目したり、場面ごとの関連を考えたりする。 筆者の主張に対する考えを述べ、根拠の妥当性を考える。
	主体的に学習に取り組む態度	1年生			
		2年生	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く取り組む力 学習を調整する力 	<ul style="list-style-type: none"> 授業や家庭学習において、学習目標を達成するための手立てを示し、学習に励むことのできる環境を整える。 振り返りシートを用いて、単元ごとに自身の課題を把握し、不足している学習を認識して次の学習へとつなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自身の課題が明確にならない場合は、助言等を行い、単元における課題が明確になるように指導する。 振り返りシートを単元ごとに確認し、自身が設定した学習目標を明確にする。
		3年生	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く取り組む力 学習を調整する力 	<ul style="list-style-type: none"> 授業における学習目標を達成するための手立てを示し、学習に励むことのできる環境を整える。 振り返りシートを用いて、単元ごとに自身の課題を把握し、不足している学習を認識して次の学習へとつなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自身の課題が明確にならない場合は、助言等を行い、単元における課題が明確になるように指導する。 振り返りシートを単元ごとに確認し、自身が設定した学習目標を明確にする。

令和6年度 青ヶ島村立青ヶ島中学校 授業改善推進プラン【社会科】

教科	観点	伸ばしたい力	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画	
社会科	知識・技能	1年生			
		2年生	<ul style="list-style-type: none"> 地理、歴史の学習が現在につながっていることを理解し、学習に向かう姿勢を育てる。 地理や歴史の資料や写真から、その地域や時代の特徴を読み取る力(技能)を伸ばす。 社会科の用語に関して、正確な知識を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに学習する意義を確認し、その意義が社会(世界)につながっていることを意識させる。 教科書の資料や資料集の写真などから設問を作り出し、地域や時代の特徴を読み取る時間を多くとっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 各州、各時代の様子と現代の様子を比較させる活動を行う。 自分の好きな時代の紹介を新聞でまとめ、自分の知識とする。 単元ごとに小テストや再テストを重ね、正確な知識の習得を促していく。
		3年生	<ul style="list-style-type: none"> 地理的分野の知識量。 歴史的分野の知識量。 地理的分野の資料を読み取る力。 歴史的分野の資料を読み取る力。 	<ul style="list-style-type: none"> 1・2年生の既習内容を再確認し、各地域の特徴や時代の流れを捉え、正確な知識を身に付けさせる。また、教科書や資料集を使い資料の読み取りに慣れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに小テストや再テストを重ね、正確な知識や表現をみとる学習活動を行っていく。
	思考・判断・表現	1年生			
		2年生	<ul style="list-style-type: none"> 社会科の目標を再確認した上で、課題を解決するために情報を収集し、相手にわかりやすく説明する表現力を身に付けさせる。 地理的・歴史的な資料の読み取りを正確に行い、自分の言葉で記述できる力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに社会的な課題に関して考える時間を設け、文章や発表などで自分の考えを表現する活動を取り入れていく。 授業内で資料の読み取りの時間をできるだけ多くつくり、まずはヒントを出さずに取り組ませる。その後教員と一緒に考察する場面をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表を行った際は、その活動だけで終わるのではなく、調べたことの共通点や相違点を考える時間も設ける。 資料の読み取りから分かった内容を、生徒自身の言葉で発言させて表現力も養っていく。
		3年生	<ul style="list-style-type: none"> 地理・歴史的分野とも、読み取った資料からその地域や時代の特徴を自分の言葉で表現できる力。 公民的分野では、自分の興味をもった内容を探求し思考する力。 	<ul style="list-style-type: none"> 地理・歴史的分野では1・2年生の既習内容を再確認する。公民的分野では授業内に時間を取り、探求する時間をさらに設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに小テストや再テストを重ね、正確な知識や表現をみとる学習活動を行っていく。
	主体的に学習に取り組む態度	1年生			
		2年生	<ul style="list-style-type: none"> 指定された課題から自分が関心のある課題を選び、必要な情報を調べ、わかりやすく発表することができるようにまとめる力を育てる。 興味関心を引き出し、主体的に学習をしていく姿勢を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象を理解する上で大切な主題図やグラフ、美術品などの資料を複数使い、社会的事象に取り組む時間を設ける。 単元ごとに興味がある分野を取り上げ、それについて調べ学習をする時間を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の学習の中ででてきた複数の課題を用いて、単元を通して解決していく課題に取り組む学習を行う。 必要があれば、調べ学習の補助を教員が行う。
		3年生	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く学習に取り組む力。 進路先に向け、自ら問題演習に向き合おうとする力。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業科目の中で入試問題演習を行う。また分からないところを教師と一緒に学習することで、安心感や励ましを得られるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 2週に1度ぐらいのペースで、入試問題に触れる機会をつくっていく。

令和6年度 青ヶ島村立青ヶ島中学校 授業改善推進プラン【数学科】

教科	観点		伸ばしたい力	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画	
数学科	知識・技能	1年生				
		2年生	基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したりする力。	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な問題解決の時間及び問題数を増加させ、知識・技能の定着を図る。 自作の問題の作成及び解説の時間を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の中で繰り返し問いかけたり、理解を深めるための問題を用意し、個に応じた指導をする。 家庭学習課題を授業ごとに準備し、基礎的な知識・技能の定着を図る。 	
		3年生	数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係等、基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする力。	<ul style="list-style-type: none"> 各単元において、生徒それぞれが自身の課題に取り組む時間を最低1～2時間設定する。 主体性を引き出すことのできる導入の工夫や数学的活動の楽しさを伝えられるような課題設定に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに確認テストを実施するだけでなく、同様の問題で再テストを受検することを促す。 生徒の実態に則して家庭学習課題を調整し、能力に応じて定着を図る。 	
	思考・判断・表現	1年生				
		2年生	数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力。	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を活用し、大量のデータを分析、考察、表現する機会を設ける。 授業の最初に前時の振り返りを発表し、授業の最後に本時の授業の振り返りを発表する機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 解答のみに着目せず、それぞれの計算や問題の途中計算や考え方にも着目させ、“なぜ～になるのか”を繰り返して聞いていく。 	
		3年生	数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力。	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決の見通しを毎授業でもたせるようにする。また、その見通しを言語化することで、思考過程を振り返り、生徒自身に改善させる。 前時に学習した内容を生徒に発表させることで、既習事項を表現する力を伸ばしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味関心に合わせてレポートを作成する時間を設定する。 課題解決が難しい場合、机間指導を綿密に実施し、自力解決できる力を伸ばしていく。 	
	主体的に学習に取り組む態度	1年生				
		2年生	数学のよさを実感して粘り強く考え、問題解決の過程を振り返り、多様な考えを認め、評価・改善することのできる力。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体となり、自ら基礎的な法則性や概念に気づけるような発問の工夫。 課題を解決していくなかで得られる喜びや満足感のある数学的活動の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元末や確認テスト後に振り返りやまとめの時間を設け、学習した内容を言語化できるようにする。 	
		3年生	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自身で授業の目標を決めたり、課題を発見したり、まとめを作成したりできるように発問を工夫し生徒主体で授業を進めていく。 「学びを深める場面」を毎授業で設定し、生徒の発言に合わせて対応し 	<ul style="list-style-type: none"> 毎授業で振り返りシートをかかせる。また、単元ごとでもこれまでの振り返りシートや授業ノートをもとに、単元の振り返りを実施する。 	

令和6年度 青ヶ島村立青ヶ島中学校 授業改善推進プラン【理科】

教科	観点		伸ばしたい力	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画	
理科	知識・技能	1年生				
		2年生	<ul style="list-style-type: none"> 自然事象に対する概念や原理、法則の基本的な理解。 探求のために必要な観察、実験等の基本的な技能。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業冒頭において、前時の学習内容を振り返る時間の設定。 観察、実験時における、各操作の意義を意識させる場の設定。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の章末ごとに基礎的、発展的な内容を確認するためのテストを実施。 	
		3年生	<ul style="list-style-type: none"> 自然事象に対する概念や原理、法則の基本的な理解。 探求のために必要な観察、実験等の基本的な技能。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業冒頭において、前時の学習内容を振り返る時間の設定。 観察、実験時における、各操作の意義を意識させる場の設定。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の章末ごとに基礎的、発展的な内容を確認するためのテストを実施。 	
	思考・判断・表現	1年生				
		2年生	<ul style="list-style-type: none"> 自然事象の中で問題を見いだし、見直しをもって課題や仮説を設定する力。 得られた結果を分析して解釈し、科学的な根拠を基に表現する力。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然事象において、生徒自身が課題を見いだし、課題解決を図るための手立てを考える場の設定。 実験結果を分析し、解釈するための時間の確保、および文章でまとめる場の設定。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業で学習した事項をもとに自然事象の中から生徒自身が課題を設定する機会として、レポート課題を活用。 	
		3年生	<ul style="list-style-type: none"> 自然事象の中で問題を見いだし、見直しをもって課題や仮説を設定する力。 得られた結果を分析して解釈し、科学的な根拠を基に表現する力。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然事象において、生徒自身が課題を見いだし、課題解決を図るための手立てを考える場の設定。 実験結果を分析し、解釈するための時間の確保、および文章でまとめる場の設定。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業で学習した事項をもとに自然事象の中から生徒自身が課題を設定する機会として、レポート課題を活用。 	
	主体的に学習に取り組む態度	1年生				
		2年生	<ul style="list-style-type: none"> 自然の事物、現象について進んで関わろうとする態度。 学習に対する自己の取り組みを振り返り、調整する態度。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業において、生徒自身が課題解決を図る時間を設定。 振り返りシートを活用し、生徒自身に毎授業の振り返りをさせ、自己の学習を調整する機会を設定。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元末において、自身のこれまでの学習に対する取り組みを総括的に振り返る場の設定。 	
		3年生	<ul style="list-style-type: none"> 自然の事物、現象について進んで関わろうとする態度。 学習に対する自己の取り組みを振り返り、調整する態度。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業において、生徒自身が課題解決を図る時間を設定。 振り返りシートを活用し、生徒自身に毎授業の振り返りをさせ、自己の学習を調整する機会を設定。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元末において、自身のこれまでの学習に対する取り組みを総括的に振り返る場の設定。 	

令和6年度 青ヶ島村立青ヶ島中学校 授業改善推進プラン【音楽科】

教科	観点		伸ばしたい力	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画	
音楽科	知識・技能	1年生				
		2年生	<ul style="list-style-type: none"> 読譜力 音符や休符の長さの理論的な理解。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材に音名を書かせ、読譜に慣れさせる。 4分音符を1としていくつ分になるか理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 五線譜の読み方を理解し、説明できるようにする。 読み取った音符や休符をリズムとして演奏できるようにする。 	
		3年生	<ul style="list-style-type: none"> 求められている強弱や音楽記号に合わせて演奏する技能。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲の中で強弱や音楽記号に合わせて演奏させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 記号が与える意味と音楽記号を合わせて理解し演奏できるようにする。 	
	思考・判断・表現	1年生				
		2年生	<ul style="list-style-type: none"> 楽譜を見てリズムを理解し演奏する力。 	<ul style="list-style-type: none"> 音や休符の長さを正しく理解させる。 演奏の練習を繰り返し行わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 拍の流れや曲風に合わせて演奏できるようにする。 	
		3年生	<ul style="list-style-type: none"> 自分の想いを音に乗せる力。 	<ul style="list-style-type: none"> 創作活動において、与えられた音の組み合わせの中で、音楽をつくりあげるようにする。 演奏において、はっきりとした音を出し、相手に伝わる演奏をする。 	<ul style="list-style-type: none"> イメージや感情などを音楽表現と結びつけて創作活動を行えるようにその都度声かけをする。 イメージや感情などを音楽表現と結びつけて演奏できるようにその都度こえかけをする。 	
	主体的に学習に取り組む態度	1年生				
		2年生	<ul style="list-style-type: none"> 様々な音楽活動に興味をもち、自ら活動しようとする態度。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の理解に合わせた学習速度。 編曲を行い楽しんで演奏できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽理論を理解し基礎を身につけられるように音楽活動に合わせて基礎基本を学べるように組み込む。 	
		3年生	<ul style="list-style-type: none"> 自分の発する音に自信と責任をもち演奏する態度。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい演奏で自信をもたせる。 音量に気を付け演奏できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 演奏の中心としてしっかりと音で演奏全体を引っ張ることができるようにする。 	

令和6年度 青ヶ島村立青ヶ島中学校 授業改善推進プラン【美術科】

教科	観点	伸ばしたい力	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画	
美術科	知識・技能	1年生			
		2年生	・形や色などが感情にもたらす効果など造形的な視点について理解し、作品の造形的特徴を根拠にして全体のイメージを言語化する力を伸ばす。	・形や色からどのように読み取ることができるか、実際に教師が例示してから鑑賞の演習を行う。自分が感じたことや考えたことを発言したり記述したりする時間を各題材で複数回設ける。	・鑑賞を通して身に付けた形や色などの造形的な視点を、自らの表現活動の中でも意識的に活用することができるようにする。
		3年生	・形や色、材料などの性質が感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に、作品に込められたイメージを言語化する力を伸ばす。	・形や色、材料などの性質からどのように読み取ることができるか、複数の例示作品の比較をもとに、イメージを言語化するための演習を繰り返し行う。	・鑑賞を通して身に付けた形や色、材料などの性質が感情にもたらす効果といった造形的な視点を、自らの制作過程においても生かすことができるようにする。
	思考・判断・表現	1年生			
		2年生	・用いる場面や社会との関わりなどから主題を生み出し、構成や装飾の目的などの条件をもとに美的感覚を働かせて表現の構想を練る力を伸ばす。	・参考作品の鑑賞を通して、目的や機能との調和のとれた洗練された美しさについて考えさせ、自分が設定した目的のものを作るとしたらどのようにデザインするかという視点でアイデアスケッチに取り組みせる。	・制作過程においてヒントになりそうな参考作品を例示するとともに、機能と美の調和に関わる自分の感性や美意識が生かされているか、主題を基にした表現の意図や思いが表現できているか、などの視点をワークシートを用いて考えさせながら制作させる。
		3年生	・社会の中の美術のはたらきについて関心を持ち、地域にとってのデザインの役割やその効果などを考えながら発想や構想する力を伸ばす。	・社会の中の美術のはたらきを考えるために、タブレットPCを使ってテーマに関わる情報収集を行うとともに、ペイント機能を用いたアイデアスケッチに取り組みせる。	・社会の課題を解決するためのデザインの事例を紹介し、物だけでなく環境や人々の行動も含めたトータルデザインという在り方について学ぶ機会を設ける。
	主体的に学習に取り組む態度	1年生			
		2年生	・社会に果たす美術の役割を理解するとともに、美的な価値を生活の中で楽しみながら、心豊かな生活や社会を築いていこうとする態度を育てる。	・日常生活の様々な部分に美術が関わっていることを認識させ、社会に果たす美術の役割を理解させる。身の回りや普段の生活の中にある美術を見つけさせ、機能と美しさの調和をテーマに対話を行って、制作者の工夫や込められた思いについて、自分の言葉で伝えることができるようにする。	・私的な空間の中の美と公共の空間の中で求められる美の違いについて、目的や機能、社会の中の美術の働きといった造形的な視点をもとに考える鑑賞の学習活動に取り組む。
		3年生	美術を通じた学びを生活や社会の中で生かそうとする態度を養い、主体的に創造活動に取り組むための力を伸ばす。	自らの表したい感じや気持ちを大切にして表現したり、他者の立場に立って使いやすく美しいものを造形したり、美術を通して自己と他者、社会とのつながりを考えさせる。	美術や美術文化と現代社会に生きる自己との関わりを意識させ、自らが生み出す主題への関心を深めさせる。

令和6年度 青ヶ島村立青ヶ島中学校 授業改善推進プラン【保健体育科】

教科	観点	伸ばしたい力	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画	
保健体育科	知識・技能	1年生			
		2年生	<ul style="list-style-type: none"> 運動の特性に応じた技能を高め、健康・安全について理解する。 運動、体力の必要性について理解し、基本的な技能を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習カード等で基本的な知識やルール、運動の特性や成り立ちの理解を促す。 ICTで撮った動画を用いて自己の課題を明確にし、技能の向上を図る。 運動の楽しさや喜びを味わうことができるように、教材・教具を工夫したり、自己の成長を実感できる授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ICTを積極的に活用する 学習カードを工夫し、生徒の知識の定着に努める。 健康・安全についての知識が、日常生活における実践力につながるよう、実体験に基づいた学習資料を使用する。
		3年生	<ul style="list-style-type: none"> 運動の特性に応じた技能を高め、健康・安全について理解する。 生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習カード等で基本的な知識やルール、運動の特性や成り立ちの理解を促す。 ICTで撮った動画を用いて自己の課題を明確にし、技能の向上を図る。 運動の楽しさや喜びを味わうことができるように、教材・教具を工夫したり、自己の成長を実感できる授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ICTを積極的に活用する 学習カードを工夫し、生徒の知識の定着に努める。 健康・安全についての知識が、日常生活における実践力につながるよう、実体験に基づいた学習資料を使用する。
	思考・判断・表現	1年生			
		2年生	自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、考えたことを他者に伝える力。	<ul style="list-style-type: none"> 例示した運動と自分の運動とがどのように違うか、また上手くできている要因は何かを考え、伝え合う時間を作る。 学習カードに自分の感じたポイントや運動のコツ、課題と解決法を記入し、他者に伝える場を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒間の話し合いや教員の助言を通し、生徒自ら、物事を比較、分類することや多面的・多角的に捉え、自己の考えを広げ、深められるようにする。
		3年生	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力。	<ul style="list-style-type: none"> 例示した運動や他者の運動と自分の運動とがどのように違うか、また上手くできている要因は何かを考え、伝え合う時間を作る。 学習カードに自分の感じたポイントや運動のコツ、課題と解決法を記入し、他者に伝える場を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒間の話し合いや教員の助言を通し、生徒自ら、物事を比較、分類することや多面的・多角的に捉え、自己の考えを広げ、深められるようにする。
	主体的に学習に取り組む態度	1年生			
		2年生	協力すること、責任を果たすこと、一人一人の違いを認め合うことを大切にするとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、生涯にわたって運動に親しむ力。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が積極的に活動ができるように、興味・関心が高まる授業展開の工夫をする。 競争や協同の経験を通して、ルールやマナーを守る等の意思をもてるようにする。 準備や後片付け等を通して積極的に役割を果たせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康や安全に興味や関心をもたせ、見通しをもって粘り強く取り組めるようにする。 個々の生徒の実態に応じ指導内容を変えたり、効果的な声かけを行ったりする。 生徒自らが学習課題を設定できるような授業を展開すると共に、生徒が課題解決へ向けて積極的に運動ができるようにしていく。
		3年生	公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にするとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、生涯にわたって運動に親しむことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が積極的に活動ができるように、興味・関心が高まる授業展開の工夫をする。 競争や協同の経験を通して、ルールやマナーを守る等の意思をもてるようにする。 相手の感情に配慮して合意形成を図ることができるような話し合い活動等をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康や安全に興味や関心をもたせ、見通しをもって粘り強く取り組めるようにする。 個々の生徒の実態に応じ指導内容を変えたり、効果的な声かけを行ったりする。 生徒自らが学習課題を設定できるような授業を展開すると共に、生徒が課題解決へ向けて積極的に運動ができるようにしていく。

令和6年度 青ヶ島村立青ヶ島中学校 授業改善推進プラン【技術・家庭科(技術分野)】

教科	観点		伸ばしたい力	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画	
技術・家庭科(技術分野)	知識・技能	1年生				
		2年生	エネルギー変換の技術において、基本的な電子機器の仕組みや発電に関する知識を理解し、工具や機器を適切かつ安全に使用して電気回路を設計する技能や、エネルギー変換の技術を評価、改善する力。	エネルギー変換の仕組みや、電気回路設計における基本的な知識を身に付け、実際に製作することで知識と技能とを身に付けさせる。	身の回りの問題を発見し、身に付けた技術を用いて課題を解決する問題解決的な学習を取り入れてることで、技術の見方、考え方を深めさせていく。	
		3年生	計測・制御システムの仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる力。	プログラミングにおいて、粘り強く試行と修正を繰り返させる課題解決的な学習を取り入れていくことで、知識と技能の定着を図る。	身近にある機器や制御システムのプログラムを再現し、技術と社会の関わりを認識させ、適切に技術を評価、改善する態度を身に付けさせる。	
	思考・判断・表現	1年生				
		2年生	エネルギー変換の技術における技術の見方、考え方に気づき、持続可能な社会に向けて技術を評価、改善し、最適化していく力。	身の回りの問題を発見し、自ら課題を設定し、技術で解決していく学習を取り入れ、製作後に環境からの視点や経済性、社会からの要求の観点から振り返らせることで技術の最適化について考えさせる。	課題設定において、さらに発展的に技術の見方、考え方を深めていけるよう、より実用的な製作品を設計できるよう促し、生徒が主体的に取り組めるようにする。	
		3年生	問題を見いだして課題を設定し、入出力されるデータの流れを基に計測・制御システムを構想し、プログラムの制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考える力。	身近にある課題をプログラミングで問題解決する学習を取り入れ、適切に情報処理の手順を具体化するとともに、プログラムを構想する過程から自ら新たな気づきを発見し、判断、表現できるよう、課題を設定する。	制作したプログラムを様々な観点から多面的、総合的に評価させることで、自身の考えを振り返らせ、プログラミングに対する思考を深める。	
	主体的に学習に取り組む態度	1年生				
		2年生	エネルギー変換の技術を通し、様々な発電方法やエネルギーについて考え、持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善しようとする態度。	生活における身近な課題を自身が発見し、課題として技術で解決することで、主体的に学習に取り組めるようにすると共に、振り返り、評価、改善させていく。	身に付けた知識や技能、考え方を段階的に難易度を上げた課題を設定させていくことで、生徒自身が能力の定着を実感できるようにしていく。	
		3年生	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善しようとする態度。	身近な機器や、計測・制御システムを題材に取り入れることで、技術と社会のつながりを認識させる。	プログラミングにおいて協働学習を取り入れ、他者と協力し、自ら主体的に学習に取り組む課題を設定する。	

令和6年度 青ヶ島村立青ヶ島中学校 授業改善推進プラン【技術・家庭科(家庭分野)】

教科	観点	伸ばしたい力	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画	
技術・家庭科(家庭分野)	知識・技能	1年生			
		2年生	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活の関わりがわかり、TPOに応じた衣服の選択や衣服に応じた手入れについて理解し実践する力。 ・家族の生活と住空間の関わりがわかり、住居の基本的な機能や安全な住空間の整え方について理解する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業導入時に前回の学習内容をホワイトボードに記入させ、内容について1～2分程度で説明させる。 ・単元や題材ごとにテストを行い、内容の定着度を見取り、必要に応じて指導方法や内容を最適化させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で使用している教材をGoogleクラスルームで共有することでいつでも閲覧、使用できるようにする。
		3年生	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児に関する課題について、自分自身の生活と関連させながら、多様な視点をもって考える力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業導入時に前回の学習内容をホワイトボードに記入させ、内容について1～2分程度で説明させる。 ・単元や題材ごとにテストを行い、内容の定着度を見取り、必要に応じて指導方法や内容を最適化させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で使用している教材をGoogleクラスルームで共有することでいつでも閲覧、使用できるようにする。
	思考・判断・表現	1年生			
		2年生	<ul style="list-style-type: none"> ・資源や環境に配慮しながら生活を豊かにするための布の制作を行ったり、衣服の選択や材料などに応じた手入れの仕方を工夫する力。 ・家族の安全を考えた住空間の整え方について考え工夫する力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・和服を実際に着用するなど、実物を使用して実体験させた上で考えさせる。 ・自らの住居の特徴を考えさせながらより安全な住空間の整え方や様々な家庭環境に合わせた住空間の工夫を考えさせる。 	授業の中で考えた多様な視点での意見をそれぞれの視点ごとにデータとしてまとめる。
		3年生	<ul style="list-style-type: none"> 幼児に関する課題について、自分自身の生活と関連させながら、多様な視点をもって考える力。 	自分自身の生活や幼少期については振り返ることができているので、自分以外(親、地域、社会全体など)の視点を具体的に提示して、考えさせる。	授業の中で考えた多様な視点での意見をそれぞれの視点ごとにデータとしてまとめる。
	主体的に学習に取り組む態度	1年生			
		2年生	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活における課題について、自分ごととして捉え、具体的に解決しようとする力。 	ワークシートや発問を工夫し、具体的な場面設定を取り入れることで自分ごととして捉えられるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を解決するために考えたことを家庭等で実践する機会を設定する。
		3年生	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活における課題について、自分ごととして捉え、具体的に解決しようとする力。 	自ら題材に対して課題を設定し、どのような手立てで改善していくのか見通しを持たせる。	課題の解決策を授業で実践した後、家庭で再度実践する機会を設定する。

令和6年度 青ヶ島村立青ヶ島中学校 授業改善推進プラン【英語科】

教科	観点		伸ばしたい力	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画	
英語科	知識・技能	1年生				
		2年生	1. 発音や日本語訳を手掛かりに、適切な英単語を答えたり、書いたりする力。 2. 発音のルールを応用し、初めて読む単語や英文でも発音を推測して読む力。	1.2. 生徒が自分のペースで受験できる単語テストをGoogle Formsで作成し、活用を指導する。フォニックスに取り組み時間や、発音や日本語訳から単語を推測する指導を行う。	1.2. 英検で頻出する英単語を学びたかったり、英単語のつづりを確認したかったり、生徒によって求める単語力が異なっているので、生徒が自分の課題に応じて学習できる時間を設定する。	
		3年生	1. 発音や日本語訳を手掛かりに、適切な英単語を答えたり、書いたりする力。 2. 発音のルールを応用し、初めて読む単語や英文でも発音を推測して読む力。	1.2. 生徒が自分のペースで受験できる単語テストをGoogle Formsで作成し、活用を指導する。フォニックスに取り組み時間や、発音や日本語訳から単語を推測する指導を行う。	1. 「ドリルパーク」を用いて第1・第2学年で学習した英単語を確認する機会を提供し、既習単語を復習する指導を行う。	
	思考・判断・表現	1年生				
		2年生	1. 生徒がお互いの意見や考えを話し合うために必要な単語と英語表現を用いる力。 2. 長文を読んで、内容に関する問題に適切に回答する力。	1. 疑問文とその受け答え方を指導し、授業中に英会話を行ってお互いのことを話し合う機会を設定する。 2. 疑問文とその受け答え方を指導し、長文を読んで内容に関する問題の答えを書く指導を行う。	1.2. 意見や考えを聞き合ったり、長文を読んでその場で内容に関する問題に答える面接テストを実施する。身の回りの物事や、社会的な話題について議論する活動を実施する。	
		3年生	1. 生徒がお互いの意見や考えを話し合うために必要な単語と英語表現を用いる力。 2. 長文を読んで、内容に関する問題に適切に回答する力。	1. 疑問文とその受け答え方を指導し、授業中に英会話を行ってお互いのことを話し合う機会を設定する。 2. 疑問文とその受け答え方を指導し、長文を読んで内容に関する問題の答えを書く指導を行う。	1.2. 意見や考えを聞き合ったり、長文を読んでその場で内容に関する問題に答える面接テストを実施する。身の回りの物事や、社会的な話題について議論する活動を実施する。自分の考えを要約する活動を実施する。	
	主体的に学習に取り組む態度	1年生				
		2年生	1. 自分の学習を振り返り、得意なところを伸ばしたり、苦手なところを補うための学習計画を立て、主体的に学習に取り組む力。	1. 生徒はCan-Doリストを作成し、指導者とともに振り返り、得意なところを伸ばしたり、苦手なところを補うために必要な学習計画を立てる。	1. テストに再チャレンジできる制度を整えたり、発展的な追加課題に取り組む機会を提供し、そうした制度や機会を利用するよう奨励する。	
		3年生	1. 自分の学習を振り返り、得意なところを伸ばしたり、苦手なところを補うための学習計画を立て、主体的に学習に取り組む力。	1. 生徒はCan-Doリストを作成し、指導者とともに振り返り、得意なところを伸ばしたり、苦手なところを補うために必要な学習計画を立てる。	1. テストに再チャレンジできる制度を整えたり、発展的な追加課題に取り組む機会を提供し、そうした制度や機会を利用するよう奨励する。	